

## 令和4年度 自主講座一覧

	開催日時	開催者名	講座名
1	7月29日(金) 18:30~20:30	特任教授 西村 勇	数式なしで楽しく理解する データサイエンス
2	8月23日(火) 13:30~16:00	教授 福田 稔	インターネットと辞書で学ぶ 英単語の使い分け
3	8月22日(月) 8月29日(月) 18:00~20:00	教授 竹野 茂	英語を使いたい人のための機械翻訳活用法
4	9月24日(土) 10:00~12:00	教授 松本 祐子	中高生のための「使える英語」講座
5	11月10日(木) 11月17日(木) 11月24日(木) 18:30~20:00	特任教授 西村 勇	音声表現講座 「朗読はバクハツだ！」
6	11月16日(水) 12月6日(火) 12月8日(木) 8:00~13:00	教授 辻 利則 (現学長)	教育機関・地域と連携した防災教育 (第12回ストリートウォッチング)
7	12月3日(土) 14:00~17:00	准教授 寺町 晋哉	「子どもの貧困」を考える
8	2月21日(火) 18:30~20:30	教授 川瀬 隆千	ストレスと上手付き合う心理学 困難を乗り越えるために
9	3月5日(日) 10:00~12:00	准教授 楠田 剛士	宮崎と文学 —遠藤周作「無鹿」を読む—
10	3月18日(土) 13:30~15:30	教授 永松 敦	地域伝承と地域創生 —地域伝説を手掛かりに—

講 座 名	数式なしで楽しく理解するデータサイエンス	
実施日時等	令和4年7月29日(金) 18時30分～20時30分	全 1 回
会 場	宮崎公立大学 交流センター 多目的ホール	
講 師	宮崎公立大学 特任教授 西村 勇	
共 催 者	なし	
後 援	なし	
その他スタッフ	学生アルバイト3名	
受 講 料	無料	
配付資料等	なし	
募 集 定 員	20名程度	
対 象	高校生以上	
受 講 者 数	23名	
<p><b>【講座の内容】</b>  近年注目されているデータサイエンスの入門編として開催した。データサイエンスのトピックスから、近年実用された事例を紹介した。その後、歴史的なデータサイエンス実例として「天気予報」を題材にどんな準備が必要か理解を深め、データサイエンスで行える解析を「確立」、「順番付」、「分類」、「理由」の4つに絞り、解析事例について検討した。  データサイエンスの技術者だけでなく、データを取り巻く社会の人々がその活動について議論に参加することが必要だということを共有した。  最後にデータ活用の際に気を付けていきたいこととして、「個人情報の取り扱い」、「調査におけるサンプリング手法」、「はずれ値」についての説明を行った。</p>	<p><b>【講座風景写真】</b></p> 	
<p><b>【講師コメント】</b>  台風による影響で天候が悪い中、高校生から70歳代の方まで参加頂き、幅広い層でデータサイエンスに興味を持たれていることが実感でき、社会の「知りたい」というニーズがあることがわかった。なかなか難しい分野だと敬遠されがちなカテゴリーであるので、事例を多く紹介するとともに、「天気予報」の歴史を振り返り身近なところでデータサイエンスの活用を実感してもらい、データを活用するための目的や準備、気にすることなど生活者の視点から考えてもらえるような講座とした。  これからのデータ社会は、データ解析等を行う人々だけのものではなく、社会全体でデータの活用についての議論を行っていく必要があると考えています。講座後のアンケートでは「データの解析を行いたい」、「データを活用して未来を知りたい」、「農業の収穫へ活用したい」等の感想をいただいた。参加されたみなさんの「データ利用の第一歩」になったのであれば嬉しく思います。</p>		

そう言うこと?

数式なしで楽しく理解する

# データサイエンス

宮崎公立大学自主講座

興味はあるけど難しそう...

DX AI ビッグデータ  
ダメ! ダメッ! 怖い わからない!  
という皆さん いろいろな事例で  
学んでみましょう!

講師：西村 勇  
宮崎公立大学 特任教授

あつという間にデータ活用の世の中に・・・  
今までデータについて学んでないし、専門家しかでき  
ないでしょ? でも、ちょっと理解してみたいな。  
上司もエビデンスとか言ってるし。  
そんなみなさん!一緒に一歩踏み出してみましょう。  
※モバイル機器等がなくても受講は可能ですが、  
モバイル機器等をお持ちの方はご持参ください。

こんな方に  
オススメ

データを使って  
企画してみたいな

データ活用って  
なんなのよ!

令和4年  
**7月29日(金)**  
18時30分~20時30分

対象・定員：高校生以上20名程度  
受講料：無料 (申込多数の場合は抽選)  
(ご来場の際はマスク着用をお願いします。)

申込方法  
申込フォームよりお申込みください。  
申込フォームURL  
<https://forms.gle/g8KZzPxePfaUTMuQ7>  
(ご提供いただいた個人情報は本学が実施している  
各種講座の運営および統計分析に使用し、これらの  
目的以外に使用することはありません。)



申込締切 7月19日(火) 申込フォーム

会場  
交流センター多目的ホール  
(キャンパスの北側にあり、階層での連絡です)



グラウンド・体育館  
交流センター  
凌雲会館  
キャンパス  
公立大学前  
江平一丁目  
宮崎大学  
附属小・附属中  
花殿町  
原町

**ご注意**  
※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては  
オンライン(Zoom)実施または中止となる可能性  
があります。  
オンライン(Zoom)実施または中止となる場合は、事前に  
宮崎公立大学地域研究センターよりご連絡いたします。

お問合せ先 宮崎公立大学地域研究センター(凌雲会館2階) TEL:0985-20-4772 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)

講座名	インターネットと辞書で学ぶ英単語の使い分け	
実施日時等	令和4年8月23日(火) 13時30分～16時00分	全 1 回
会場	宮崎公立大学 マルチメディア第1講義室	
講師	宮崎公立大学 教授 福田 稔	
共催者	なし	
後援	なし	
その他スタッフ	学生アルバイト1名	
受講料	無料	
配付資料等	講座では、パワーポイント・スライドを印刷した資料を各受講生に配布し、パソコン画面で示しながら説明した。	
募集定員	20名	
対象	英語に関心のある市民、教員、学生、生徒	
受講者数	7名	
<p><b>【講座の内容】</b>  英語辞書は極めて有用な学習ツールです。インターネットも活用することで、日英語の違いについて、深く学べることを言語学や認知科学の観点から説明しました。</p> <p>前半では、「みる」を意味する see / look / watch を取り上げて、簡単なクイズを解き、英和辞典やインターネット辞書を使って、使い分けを確認しました。また、データ集コーパスや、歴史的な意味変遷にも触れました。後半では、前置詞 on / over / above を取り上げて、インターネット辞書で意味の違いを確認し、反意語を調べる課題に取り組んで頂きました。</p> <p>多少でも手間隙をかける方が深く学べます。継続可能で、自分に合った学習法を見つけることも大切だと結論付けました。</p>	<p><b>【講座風景写真】</b></p> 	
<p><b>【講師コメント】</b>  英語学習のための教材や学習法は多様化しています。実態としては、「溢れかえっている」とさえ感じることもあります。ただ、英語学習への関心は高いのですが、実際に取り組んでいる人の割合は少ないというアンケート調査があります。そこで、学習者にとって必要となるのが、継続可能で、合理的な学習法を見つけることです。</p> <p>しかし、わかりやすい説明を受けるだけでは、知識として残らないという認知心理学からの指摘があります。ある程度、手間隙をかける「深い」学習が必要になるのです。本講座では、その一例として、身近にある(紙の)英和辞典と、無料で気軽に使えるインターネット辞書を(複数)使った学習法を紹介しました。</p> <p>受講生は熱心に参加して下さいました。アンケート回答から、講座で紹介したインターネット辞書サービスが、あまり知られていないようでした。今後は、類似したトピックで、中高生を対象とした講座を企画することも検討したいと思います。</p>		

## 宮崎公立大学自主講座

# インターネットと辞書で 学ぶ英単語の使い分け

英語辞典は有用な学習ツールであると言われています。本講座では、さらにインターネットも活用することで、日英語の違いに気づきながら、深く学べることを言語学や認知科学の観点から説明します。

- 講師** 福田 稔 (宮崎公立大学 教授)
- 日時** 8月23日(火) 13:30~16:00
- 会場** 宮崎公立大学研究講義棟2階 マルチメディア第1講義室  
(ご来場の際はマスク着用をお願いします。)
- 対象者** 英語や英語教育に関心のある市民、教員、学生、生徒  
(パソコン操作がありますが、アシスタント学生がいますのでご安心ください。)
- 定員** 20名程度 (応募多数の場合抽選)
- 受講料** 無料

※英和辞典をお持ちでしたら、ご持参ください。

### 申込方法

申込QRコードよりお申込みください。  
URL : <https://forms.gle/7whncNcv8Rub5eFP9>  
(ご提供いただいた個人情報は本学が買付している各種  
調査の調査および統計分析に使用し、これらの目的以外  
に使用することはありません。)



申込QRコード

申込締切 8月14日(日)

### ご注意

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によってはオンライン  
(Zoom)実施または中止となる可能性があります。  
オンライン(Zoom)実施または中止となる場合は、事前に宮  
崎公立大学動感研究センターよりご連絡いたします。



お問い合わせ先 宮崎公立大学動感研究センター(保健会館2階) TEL: 0985-20-4772 (土・日、祝日を除く9:00~17:00)  
E-mail: mmurc@miyazaki-mu.ac.jp

講座名	英語を使いたい人のための機械翻訳活用法	
実施日時等	令和4年8月22日、29日(月) 18時00分～20時00分	全 1 回
会場	宮崎公立大学 マルチメディア第2講義室	
講師	宮崎公立大学 教授 竹野 茂	
共催者	なし	
後援	なし	
その他スタッフ	学生アルバイト2名	
受講料	無料	
配付資料等	講座では、パワーポイントで作成した資料を配布の上、パソコン画面をプロジェクターで表示しながら説明をし、受講者にも PC の操作をしてもらいながら、話を進めた。	
募集定員	20名	
対象	英語学習者(中・高・大学生・大人)	
受講者数	のべ 22名	
<p><b>【講座の内容】</b></p> <p>・8/22 最初に受講者一人ひとりに、受講の動機、機械翻訳についてどのように考えているのかを尋ねてから始めた。機械翻訳に用いる3つのツール(Google Translate, DeepL、みらい翻訳)を示した上で、それぞれの翻訳がどのような訳文(日本語→英語)を輩出するかを示した。その後、機械翻訳の仕組みについて、簡潔な説明を行った。「機械翻訳の出現により外国語(特に英語)学習は必要なくなるのか」という問題について考えた。その上で、機械翻訳をツールとして上手に便利に使うためには、外国語の知識が必要であると主張した。説明後に、それぞれの翻訳がどのようになるのかを、日本語の文学作品の冒頭部分を機械翻訳にかけるとどのようになるのかを参加者に実演してもらった。</p> <p>・8/29「自動翻訳の訳出精度を上げるコツ」を実際に受講生にやってもらいながら体得してもらう形式をとった。</p> <p>また、「イチローの野球殿堂入りの際のスピーチ」を取り上げ、動画からGoogle Translateの音声認識機能を利用して文字化しそれを自動翻訳する実演を交えた。</p> <p>上記のコツでは、日本語から英語への翻訳、また、英語のことわざや日常会話に使える表現を用いて日本語に機械翻訳することで、英語学習の補助的な考え方を示した。</p>	<p><b>【講座風景写真】</b></p> 	

### 【講師コメント】

参加者には、実際に業務に近いところで機械翻訳(MT)を利用されている人も参加されていた。その方は google 翻訳について「初期は全く使い物にならなかったが、最近はかなり進歩した」という感想を話していた。その話を受けて、なぜ翻訳精度が高くなったかについて、MT の仕組みに言及して理解を深めた。また、高校生も多く参加されていたので、機械翻訳の技術を英語学習に活かす観点で話を進めた。機械翻訳の便利さと、機械翻訳の誤訳に気づく英語力(語学力)の必要性について、主に力説した。

1 回目は、総論を話したので、2 回目は実際に受講者に日本語→英語、英語→日本語の機械翻訳を体験してもらいながら進めた。機械翻訳だけでなく、英語の使い方や学習法についても言及し、飽きさせない工夫をした。機械翻訳というと兎角文字列の変換だけになってしまうが、音声入出力や実際の YouTube で閲覧できるスピーチを使った音声→文字変換方法などにも言及した。タイムリーにも第 2 回目の前日に「イチローの野球殿堂入りの際のスピーチ」があり、その映像を用いて、スピーチの文体にも言及しながら、受講者に楽しんでもらうことを考えた。

アンケートでも指摘があったが、2 回とも 2 時間ぶっ続けで行ったので、休憩を組み込んでおけばよかったと思う。

#### 配布資料

- 1.2 PowerPoint の資料 (1 回目、2 回目)
- 3 自動翻訳の訳出精度が劇的に向上する代表的なテクニック 10 選 (日本語→英語用)
- 4 ことわざ、日常会話編文例 (英語→日本語用)
- 5 Ichiro's speech at the ceremony of "Hall of Fame" (「イチローの野球殿堂入りの際のスピーチ」を中心にセレモニーで話された英語を講師自らが Google Translate を利用しながらトランスクリプト<文字起こし>した資料)

## 宮崎公立大学自主講座

# 英語を使いたい人のための 機械翻訳活用法

2日間に分けて英語学習者、英語を職業上使う必要のある人がより早く、より良い英語表現を使えたり、より早く英語で書かれた情報を読み取るための機械翻訳術を伝授します。

**講師** 竹野 茂 (宮崎公立大学 教授)

**日時** 8月22日(月)、29日(月) 18:00~20:00 全2回

**会場** 宮崎公立大学研究講義棟3階 マルチメディア第2講義室  
(ご来場の際はマスク着用をお願いします。)

**対象者** 英語学習者(中・高・大学生・大人)

**定員** 20名程度 (応募多数の場合抽選)

**受講料** 無料

### 申込方法

申込QRコードよりお申込みください。

URL : <https://surveys.nhu.ac.jp/sr/N054F7>

(ご提供いただいた個人情報は本学が実施している各種調査の運営および統計分析に使用し、これらの目的以外に使用することはありません。)



申込QRコード

申込締切 8月7日 (日)

### ご注意

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によってはオンライン(Zoom)実施または中止となる可能性があります。  
オンライン(Zoom)実施または中止となる場合は、事前に宮崎公立大学地域研究センターよりご連絡いたします。



お問い合わせ先 宮崎公立大学地域研究センター(総務会議2階) TEL: 0985-20-4744(土・日、祝日も除く※09~17:00)  
E-mail: [rmrarc@miyazaki-nu.ac.jp](mailto:rmrarc@miyazaki-nu.ac.jp)

講座名	中高生のための「使える英語」講座	
実施日時等	令和4年9月24日(土) 10時00分~12時00分	全1回
会場	宮崎公立大学 103大講義室	
講師	宮崎公立大学 教授 松本 祐子	
共催者	なし	
後援	なし	
その他スタッフ	学生アルバイト2名	
受講料	無料	
配付資料等	ワークシート	
募集定員	30名	
対象	英語学習者	
受講者数	22名	
<p><b>【講座の内容】</b>  中高生を対象に「使える英語」に関する講座を実施。  講座の前半は、「使える英語とは?」「単語や文法のコアとは?」ということについて、認知科学の観点から事例を交えて解説した。更に、前置詞「at, on, in」に関するコアの意味を考え、練習問題に取り組み、分からない箇所はグループメンバーと協同で取り組んだ。  講座の後半は、実践活動を2つ行った。まず「自分の誕生会を企画する」という活動で、既習の「at, on, in」を使う質問を用意し、パートナーと英語でやりとりをした。次に英字新聞を用い、既習の「at, on, in」が実際どのような使われ方をしているのか、ワークシートに書き出し、学習したコアイメージに照らし合わせて確認した。</p>	<p><b>【講座風景写真】</b></p> 	
<p><b>【講師コメント】</b>  受講生の殆どが高校生(社会人2人を含む)ということで、なるべく分かりやすく、基礎事項を定着させるようなレベル設定で行った。また講義だけにならないよう、ペアやグループ活動を多く取り入れ、受講生が自分から英語を使うことで、理解を深めるよう工夫した。学生アルバイトもサポートに入ってくれたので、どのペア(グループ)も比較的活発なやりとりを行えている様子だった。</p>		

## R4年度 宮崎公立大学自主講座

# 中高生のための 「使える英語」講座

「語彙や文法を暗記するのが大変!」と思っているみなさん、  
もっと効率的に学べて、使える英語に出来る方法があります。  
英語が苦手な人も、得意な人も、一緒に試してみませんか?

**講師** 松本 祐子 (宮崎公立大学 教授)

**日時** 9月24日(土) 10:00~12:00

**会場** 宮崎公立大学研究講義棟1階 103大講義室  
(ご来場の際はマスク着用をお願いします。)

**対象者** 英語学習者(中・高校生 \*成人の方も歓迎)

**定員** 30名程度 (応募多数の場合抽選)

**受講料** 無料



申込方法:

QRコードよりお申込みください

URL: <https://forms.gle/5JqByiVEVFeHjR7C7>

(ご提供いただいた個人情報は本学が実施している各種講座の運営および統計分析に使用し、これらの目的以外に使用することはありません。)

申込締切: 9月10日 (水)



QRコード



**ご注意**

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によってはオンライン(Zoom)実施または中止となる可能性があります。  
オンライン(Zoom)実施または中止となる場合は、事前に宮崎公立大学地域研究センターよりご連絡いたします。



お問合せ先

宮崎公立大学 地域研究センター (凌雲会館2階)

TEL: 0985-20-4772 (土・日、祝日を除く9:00~17:00)

E-mail: [mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp](mailto:mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp)

講座名	音声表現講座「朗読はバクハツだ！」	
実施日時等	令和4年11月10日、17日、24日（木） 18時30分～20時00分	全3回
会場	宮崎公立大学 交流センター 多目的ホール	
講師	元NHKアナウンサー 杉尾 宗紀 講座企画：宮崎公立大学 特任教授 西村 勇	
共催者	なし	
後援	なし	
その他スタッフ	なし	
受講料	無料（朗読用テキスト「チェコ SF 短編小説集」代として【1,650円】）	
配付資料等	「朗読爆発のための四箇条」 1枚	
募集定員	6名	
対象	学生（高校生を除く）・社会人	
参加者数	のべ13名	
<p><b>【講座の内容】</b> 元NHKアナウンサー杉尾宗紀氏による音声表現講座。朗読の題材として「チェコ SF 短編小説集」（平凡社）の中から、ヤロスラフ・ハシュク/Jaroslav Hašek (1883-1923)作「オーストリアの税関」を用いた。朗読爆発のための四箇条として下記に留意しながら朗読をおこなった。</p> <p>①自分の本来の豊かな声で大声×無理しない小声から ②日本語の9割9分は母音滑舌は母音が解決する ③朗読はどこで切っても自由「どこで切るか」で個性が爆発 ④作品を味わいながら読む テイスティングが読みの極意</p> <p>以上を実践することで、プレゼン力だけでなく、人前での人間力アップを目指した。</p>	<p><b>【講座風景写真】</b></p> 	
<p><b>【講師コメント】</b> 1.5時間×3回で自分の声探しをして、プレゼンのベース作りを目指すという「無謀」な講座にもかかわらず、受講生に恵まれ、初日と最終日の声と読みの変わりようはまさに確変でした。自分の声探しは、自分のコアを見つめること。その上で文章のどこで切るかを実践する事で、自分の個性を発揮することができる、つまりオリジナルな自己表現に繋がります。朗読は対人能力アップの近道だと、改めて確認出来ました。</p>		



# 宮崎公立大学 自主講座

元NHKアナウンサーによる音声表現講座

## 「朗読はバクハツだ！」

～朗読力とともにプレゼン力をつけよう～



### 講師紹介

**杉尾宗紀**

昭和32年国富町生まれ 元NHKアナウンサー  
報道・番組リポーターとしてオウム真理教事件  
阪神淡路大震の現場取材  
東日本大震災311当日、ラジオの終夜放送を担当  
俳優の故・林隆三さんと出会い朗読に開眼  
各地で朗読ライブを展開中

### 講座企画・司会

西村 勇 宮崎公立大学 特任教授

- 日時** 11月10日(木)、17日(木)、24日(木) 全3回 18:30~20:00
- 会場** 宮崎公立大学 交流センター多目的ホール (ご来場の際はマスク着用をお願いします。)
- 対象者** 学生(高校生除く)・社会人 ※全3回受講できる方
- 定員** 5名程度(応募多数の場合抽選)
- 受講料** 無料 ※テキスト(指定書籍)代実費がかかります 1,650円(税込)

※テキスト(指定書籍)を事前に準備していただきます。  
※テキスト(指定書籍)については受講決定案内時にお知らせいたします。

### 申込方法

右の申込みQRコードよりお申込みください。  
URL : <https://forms.gle/ktgEFwQUJPx9HD3o9>  
ご提供いただいた個人情報は本学が実施している各種講座の運営および統計分析に使用し、これらの目的以外に使用することはありません。

申込締切 10月10日(月)

お問合せ先 宮崎公立大学 地域研究センター(凌雲会館2階) TEL : 0985-20-4772 (土・日、祝日を除く9:00~17:00)  
E-mail [mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp](mailto:mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp)



講座名	教育機関・地域と連携した防災教育（第12回ストリートウォッチング）	
実施日時等	事前授業：令和4年11月16日（水） 地域調査：令和4年12月6日（火）、8日（木） 8時00分～13時00分	全3回
会場	事前授業：西池小学校 地域調査：中央西自治区内	
講師	宮崎公立大学 教授 辻 利則（現 学長）	
共催者	西池小学校、中央西まちづくり推進委員会	
後援	なし	
その他スタッフ	なし	
受講料	無料	
配付資料等	なし	
募集定員	200名	
対象	西池小学校関係者	
受講者数	小学校参加者：160名（小学生＋教員） 地域の参加者：30名 学生：20名	
<p><b>【講座の内容】</b></p> <p>本活動は、将来を担う子供たちへの防災教育として、平時から災害に備えた取り組みを、高齢者、障がい者など含めて実践活動を行い、地域の役割、自分にもできることを理解してもらい、さらに子供たちを通して若い世代の地域参加を促すことを目的としている。</p> <p>活動は、事前授業において、地震や津波、洪水など災害時に必要な心構え、特に普段から考えておくべきことについて学び、その後、実際に地域を調査する。</p> <p>地域調査は、危険箇所や災害時に重要となる避難場所などを知るために、地域住民の方と一緒に歩き、過去の災害など様々な話を聞く。本学の学生は地域の方と一緒に同行し、サポート役として参加する。</p> <p>本年度はコロナ対策として5クラスを3クラスと2クラスに分けて実施した。開発したWebアプリを使用し、タブレットを使って調査箇所を入力してもらった。</p>	<p><b>【講座風景写真】</b></p> 	
<p><b>【講師コメント】</b></p> <p>本年度もコロナ禍の中での開催となった。昨年度まで事前授業はリモートで実施していたが、本年度は学生に各クラスで防災に関する説明を行う対面授業とした。</p> <p>調査においては、地域の方と小学生、そして学生の10人程度でグループを作り、小学生は小学校のiPadを使って、危険箇所など調査データを入力（研究室で開発したWebアプリ）してもらった。また、子供たちの見守りカードKOTONを出発地の総合文化公園と到着地の西池小学校に設置し、保護者への伝達試験も実施した。</p> <p>事前授業、そして地域調査と天候も良く、本年度も計画通りに実施することができた。本年度で12回となるストリートウォッチングに、ご協力頂いている中央西まちづくり推進委員会の皆さんに深く感謝します。なお、本活動は、次年度も引き続き、実施したいと考えている。</p>		

講座名	「子どもの貧困」を考える	
実施日時等	令和4年12月3日(土) 14時00分～17時00分	全1回
会場	宮崎公立大学 交流センター 多目的ホール	
講師	栗原 和樹 (一橋大学大学院生)・梶原 豪人 (東京都立大学大学院生) 講座企画・司会：宮崎公立大学 准教授 寺町 晋哉	
共催者	なし	
後援	なし	
その他スタッフ	学生アルバイト2名	
受講料	無料	
配付資料等	なし	
募集定員	50名	
対象	高校生以上	
受講者数	20名	
<p><b>【講座の内容】</b>  「子どもの貧困」について、教育社会学の視点から研究している講師2名を招き、講座を行った。梶原豪人氏は「子どもの貧困と学校生活：地方自治体による子どもの貧困実態調査の結果から」、栗原和樹氏は「教師は貧困をどのように捉えているのか」というテーマで話題提供を行って頂いた。  各テーマにつき50分の話題提供の後、フロアからの質問・意見に講師2名が応答する意見交換を1時間ほど行った。</p>	<p><b>【講座風景写真】</b></p> 	
<p><b>【講師コメント】</b>  少人数だったが、参加者は非常に意欲的だった。テーマの内容からか、大学生だけでなく学校教員や保健所職員の方も参加者されており、多様な立場から「子どもの貧困」について理解を深めることができた。意見交換時には非常に鋭い質問が数多く寄せられ、講座全体は非常に充実していた。今後も研究領域の知見を市民の方々へ還元できるように、様々な企画に取り組んでいきたい。</p>		

宮崎公立大学自主講座

# 「子どもの貧困」を考える

「子どもの貧困」という言葉を耳にしたことがある方は多いのではないのでしょうか。では、「子どもの貧困」とはどのような状態を指すのでしょうか？「貧困」状態であることは学校生活にどのような影響を与えるのでしょうか？学校や先生は「子どもの貧困」に対してどのようにアプローチすればよいのでしょうか？本講座では、「子どもの貧困」について、教育社会学の視点から研究しているお二人を講師に招き、話題提供して頂きます。

日時: 2022年12月3日(土)

場所: 宮崎公立大学 地域交流センター  
多目的ホール

対象: 高校生以上

定員: 50名程度 (受講料: 無料)

※ご来場の際はマスク着用をお願いします。

## 【プログラム】

14:00~14:10

開会のあいさつ・講師紹介

15:10~16:00

「教師は貧困をどのように捉えているのか」

講師: 栗原和樹(一橋大学大学院)

14:10~15:00

「子どもの貧困と学校生活: 地方自治体による  
子どもの貧困実態調査の結果から」

講師: 梶原豪人(東京都立大学大学院)

16:10~17:00

意見交換

司会: 寺町晋哉(宮崎公立大学准教授)

## 申込方法 (申込締切 11月23日(水))

右の申込みQRコードよりお申込みください。URL: <https://forms.gle/5cjRVeDNyS5Fc6Xp8>

※託児希望の方は、お子様のお名前・ご年齢のご入力をお願いします。

ご提供いただいた個人情報は本学が実施している各種講座の運営および統計分析に使用し、これらの目的以外に使用することはありません。



お問合せ先 宮崎公立大学 地域研究センター(凌雲会館2階) TEL: 0985-20-4772 (土・日、祝日を除く9:00~17:00)

講座名	ストレスと上手に付き合う心理学～困難を乗り越えるために～	
実施日時等	令和5年2月21日(火) 18時30分～20時30分	全1回
会場	宮崎公立大学 交流センター 多目的ホール	
講師	宮崎公立大学 教授 川瀬 隆千	
共催者	なし	
後援	なし	
その他スタッフ	学生アルバイト3名	
受講料	無料	
配付資料等	講座テキスト	
募集定員	70名程度	
対象	一般市民・高校生以上	
受講者数	15名	
<p><b>【講座の内容】</b></p> <p>「第1部 ストレスとは何か」において、セリエのストレス学説、ホームズとレイの精神医学的ストレス理論、ラザルスの心理学的ストレス理論について説明した。</p> <p>「第2部 ストレスと上手に付き合う」では、ストレスプロセスとコーピング、ストレスプロセスを媒介するソーシャルサポートや楽観的説明スタイルについて説明し、ストレスと上手に付き合う方法を考えた。また、ストレス関連成長とそのプロセスについても触れ、ストレスのポジティブな面についても説明した。</p> <p>理論的な話を中心だが、ストレスの少ない県は？ サルも温泉でストレス解消？ 笑顔がストレスを解消する？などの話も取り入れて構成した。</p>	<p><b>【講座風景写真】</b></p> 	
<p><b>【講師コメント】</b></p> <p>講座の感想として、「ストレスと上手に付き合う方法を楽観的・悲観的から知ることができて良かった」「自己分析を書き出すのは私もするので良い方法だと思います」「車の中や歩きながら独り言を言っているのですが、書くことと同義になっているのだと気づきました」など、具体的な感想が寄せられ、参加者が自分のこととして聞いてくれたことがわかった。</p> <p>高校生が数多く参加してくれ、「心理学についても興味がわきました」「私は将来公認心理士になりたいと考えています。また機会があればよろしく願います」などの感想も寄せられた。高校向けの講座も実施しようと思う。</p>		

## 宮崎公立大学自主講座

# ストレスと上手に付き合う心理学 困難を乗り越えるために

「ストレス」とは何でしょうか。よく使う言葉ですが、実はよくわかりません。私達の身の回りのストレスについて、心理学の観点から解説し、ストレスへの対処、さまざまな困難を乗り越える方法を考えます

講師 川瀬 隆千 (宮崎公立大学 教授)

日時 2月21日(火) 18:30~20:30

会場 宮崎公立大学  
交流センター 多目的ホール  
(ご来場の際はマスク着用をお願いします。)

対象者 一般市民・高校生

定員 70名程度 (応募多数の場合抽選)

受講料 無料

### 申込方法

申込QRコードよりお申込みください。

URL : <https://forms.gle/Kka7ap89NUkxDKbq7>

(ご提供いただいた個人情報は本学が実施している各種講座の運営および統計分析に使用し、これらの目的以外に使用することはありません。)



申込QRコード

申込締切 2月12日(日)

### ご注意

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によってはオンライン(Zoom)実施または中止となる可能性があります。

オンライン(Zoom)実施または中止となる場合は、事前に宮崎公立大学地域研究センターより連絡いたします。



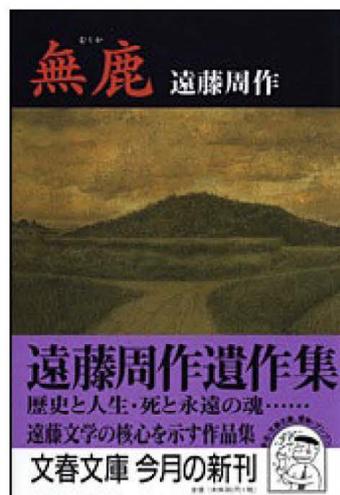
お問合せ先 宮崎公立大学 地域研究センター(凌雲会館2階) TEL : 0985-20-4772 (土・日、祝日を除く9:00~17:00)  
E-mail mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp

講座名	宮崎と文学—遠藤周作「無鹿」を読む—	
実施日時等	令和5年3月5日(日) 10時00分～12時00分	全 1 回
会場	宮崎公立大学 交流センター 多目的ホール	
講師	宮崎公立大学 准教授 楠田 剛士	
共催者	なし	
後援	なし	
その他スタッフ	なし	
受講料	無料	
配付資料等	レジメ1部	
募集定員	20名	
対象	一般市民	
受講者数	11名	
<p><b>【講座の内容】</b></p> <p>宮崎を舞台にした小説である遠藤周作「無鹿」を取り上げ、その見どころを解説する講座を行った。</p> <p>まず「無鹿」のあらすじと、作者遠藤の略歴を紹介した。そのなかで「無鹿」の初出と初刊に本文異同があること、代表作である「海と毒薬」「沈黙」「深い河」と同じように「無鹿」も現地取材に基づく創作であること、「無鹿」と同時期に書かれた「王の挽歌」でも大友宗麟が取り上げられているが、最近の研究や発見された未発表原稿などから、より以前から無鹿という場所に遠藤が関心を示していたことなどを説明した。</p> <p>次に小説の舞台となった宮崎市の料理店「杉の子」について、実際の写真を使いながら説明した。遠藤を案内した店主の回想やエッセイなどから、遠藤が食した料理が今でも食べられることを話した。また、延岡市の「無鹿」についても、実際の写真や動画を用いながら、小説の表現との対応関係を示した。遠藤が見たものと変わらない風景を今でも見ることができること、遠藤が来県し小説を書いたことで無鹿は大友宗麟・西郷隆盛・遠藤周作が結びつく新しい風景が生まれたことなどを話した。</p>	<p><b>【講座風景写真】</b></p>  <p>今日の話題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己紹介</li> <li>2. 作者について</li> <li>3. 小説概要</li> <li>4. 作品の舞台1</li> <li>5. 作品の舞台2</li> </ol> <p>無鹿 遠藤周作</p>	
<p><b>【講師コメント】</b></p> <p>画像や動画を多く用いたり、小説本文を音読したり、小休憩をはさんだりと、2時間のなかでの進め方を工夫した。昨年度と異なり、対面で行うことでその場で参加者の感想や意見を聞きやすかった。今後も工夫した講座を行いたい。</p>		

2022年度 宮崎公立大学自主講座

# 宮崎と文学

— 遠藤周作「無鹿」を読む —



『無鹿』 遠藤周作著 文春文庫

宮崎県を舞台にした小説「無鹿」と、その作者・遠藤周作について解説します。

講師：楠田 剛士（宮崎公立大学准教授、日本近現代文学）

日時：2023年3月5日（日）10時～12時（9時半開場）

会場：宮崎公立大学 交流センター・多目的ホール

会場入場時の検温及び講座受講時のマスク着用等のコロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力ください。

対象・定員：一般市民・20名（受講無料）

申込方法：右記のQRコードを読み取り  
必要事項をご入力してください。

申込期限：2023年2月24日（金）

## 無料託児について

交流センター内に無料託児所（小学生以下）を準備します。

託児希望の方は、QRコードより必要事項をご入力ください。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によってはオンライン（Zoom）実施となる可能性があります。

その場合は事前に宮崎公立大学地域研究センターよりご連絡いたします。

※ご提供いただいた個人情報は本学が実施している各種講座の運営および統計分析に使用し、

これらの目的以外に使用することはありません。

問合せ先 宮崎公立大学 地域研究センター 電話：0985-20-4772（土・日、祝を除く9:00～17:00）  
メールアドレス：mmurrc@miyazaki-mu.ac.jp

講座名	地域伝承と地域創生 ―地域伝説を手掛かりに―	
実施日時等	令和5年3月18日(土) 13時30分～15時30分	全1回
会場	宮崎公立大学 交流センター 多目的ホール	
講師	宮崎公立大学 教授 永松 敦、宮崎大学 講師 鈴木 良幸、 画家 水元 博子、下北方東自治会 会長 野中 高志、 池内宮崎城クラブ 会長 椎 康一	
共催者	民俗学研究室 地域のお宝発掘・発展・発信事業(大宮地域自治区)	
後援	大宮地域まちづくり推進委員会学校支援部会・宮崎市大宮地域事務所	
その他スタッフ	大宮中学校美術部・大宮小学校関係者・池内小学校関係者	
受講料	無料	
配付資料等	なし	
募集定員	70名	
対象	一般市民	
受講者数	47名	
【講座の内容】	<p>大宮地区に伝わる伝承下北方町の景清伝説・池内町の宮崎城にまつわる歴史物語を、紙芝居を通して、次世代に伝承する試みを実践するもの。今回は上記2種の紙芝居に、大宮中学校美術部が制作した「神武様ものがたり」を公開した。</p> <p>後半は、地域住民2名(野中氏・椎氏)と宮崎大学地域資源創成学研究科講師の鈴木氏、画家の水元氏を交えて、地域伝承を次世代にどのように伝えることが望ましいかについて討論を行った。</p> <p>会場は大宮地域事務所の関係者をはじめ、地域住民、まちづくりに取り組む方々で賑わった。会場からも意見が多く出され、活発な質疑応答が行われた。</p>	<p>【講座風景写真】</p> 
【講師コメント】	<p>今回はじめて、自主講座において、地域の小中学生を集め、紙芝居の発表を行ったところ、保護者、関係者など多くの人々の関心を集めることができた。2種類の紙芝居は画家に制作を依頼したのだが、今回、大宮中学校美術部から生徒自身の手で制作したいという申し出があり、新たに「神武様ものがたり」を加えることができた。シンポジウムでは、地域伝説を次世代に伝えるために、紙芝居の制作・発表という手法が極めて有効ではないか、ということが議論された。ところが、神話に関しては、皇国史観に立っているのではないか、という批判も学校関係者の間では一部には見受けられることから、この点はいくまでも地域伝承に基づいた事実にとどめるということを共通認識として有することが重要だと提言した。非常に内容の濃いシンポジウムとなった。</p>	

2022年度 宮崎公立大学自主講座

# 地域伝承と地域創生 —地域伝説を手掛かりに—

2023年3月18日（土）  
13時30分～15時30分

会場 宮崎公立大学交流センター

## 1、紙芝居公演

大宮中学校 「神武様ものがたり」  
大宮小学校 「景清ものがたり」  
池内小学校 「宮崎城主 上井覚兼と南蛮犬」



## 2、シンポジウム 地域伝承と地域創生

パネリスト

野中 高志 宮崎市下北方東自治会 会長  
椎 康一 池内宮崎城クラブ会長  
鈴木 良幸 宮崎大学大学院地域資源創成学研究所 講師  
水元 博子 画家

司会

永松 敦（本学教授）



参加申込 080-6406-5493  
kojiki1300miyazaki@yahoo.co.jp

主催 宮崎公立大学  
共催 民俗学研究室・地域のお宝発掘・発展・発信事業  
(大宮地域自治区)  
協力・大宮地域まちづくり推進委員会 学校支援部会  
宮崎市大宮地域事務所